

まちづくり Litaraacy

まちのミカタ

Recommendation



book 01 まちづくりを革命を起した一冊
 『バトン・ランゲージ—環境設計の手引』
 著者：クリストファー・アレグザンダー
 翻訳：平田 敏郎
 定価：10,290円

りたのデザインワークショップの理論的背景にあたる書。元々数学者として美しい空間の理論化、数式化を目指し「都市はツリーではない」「形の自覚に関するノート」等の書籍にて各種の理論を提唱し、突き詰めていった先に「言語化」に行き着いたのが本書。世界中を巡って、心地よい建築やコミュニティを支える環境の法則を抽出し、253のバトーンに整理した。建築や都市を白紙から考えるのではなく、地元の風土や文化を洞察してから考えるべし、とする彼の主張は、30年経った今でも色あせない。



place 01 りぶら北側に緑のオアシスあり
 『りぶら老生広場』
 住所：岡崎市東海道4-7-1
 誰もが気軽に訪れることができる「まちの緑の空間」として、りぶらが誕生してからもう30年が過ぎようとしています。りぶらには、図書館や会議室、ホール以外にも、市民に愛されるべき空間がありました。家族で遊ぶもよし、カップルでくつろぐもよし、一人で本を読むもよし、使い方は自由。

event 01 額田を盛り上げたいからフェスつくっちゃいました。
 『KuRaGaRi Sound Fes!』
 日時：9/19(日) 11:00~20:00
 開催場所：くらがり溪谷第一駐車場(少雨決行)
 (岡崎市元町字新田第3-1)
 チケット：1,000円(当日販売)
 問合せ先：KuRaGaRi Sound Fes実行委員会
 090-1239-5209 (岩月)
 元康生プロムナードKoyaKoyaの井当屋さん Sweet Lunch Box (坂田園シビコ園)のJiroくんが、地元額田を盛り上げようと企画した一大イベント！音楽あり、ダンスあり、地産地消フードあり、手づくりクラフト、体験ブースと盛りだくさん！大人も子どもも楽しめます。チケットは会場で当日販売。



place 02 何して遊ぶ？
 『岡崎市こども自然遊学の森 わんPark!』
 住所：岡崎市深沢町内
 男川の曲線が作りだした高台に、地形を生かした自然公園が誕生しました。子どもたちが、自然遊びを通じて、自然を身近に大切に感じる思い出をつくり、環境学習につなげることができます。施設内は広葉樹林に囲まれ、どろんどろん、虫取り、虫登りなど、五感を使って自然の中で遊ぶ場所がたぐいせん。遊び方はあなた次第です。



額田特集

place 03 ぬくもりとこだわりが感じられるcafe
 『cafe』
 住 所：岡崎市下文町字真倉2-4-1
 TEL:0564-7-773664
 定休日：毎週日曜日、第2・4月曜日
 今年の4月にオープンした自然食カフェ。食材は無農薬、無化学肥料、無添加調味料にこだわった安心なものばかり。木のぬくもりを感じる建物、額田の自然に囲まれながら、心と体をリフレッシュしませんか？



ID_000047

Litaracy

EVENT SCHEDULE

<p>9 September</p> <p>11 18:00 土</p> <p>笑えて(?)泣ける新しい反戦映画 トンマッコルへようこそ 無料映画上映会 岡崎市美術館が企画する「コメディ万歳！」の第4弾。朝鮮戦争を背景に、ユートピアのような村「トンマッコル」で繰り広げられる友情の結末やいかに！ 笑えて(?)泣けるコメディとファンタジーによる新しい反戦映画です。 □ 無料 □ 50名(先着順) □ 岡崎市美術館 TEL:0564-28-5000</p> <p>みんなでつくる交流センター 地域交流センター 運営懇話会 地域交流センターでは市民の方の声を積極的に運営に取り入れています。皆さんのご意見を伺いたくさい！ □ 無料 □ やはぎさん □ 西部地域交流センター・やはぎさん TEL:0564-33-3665</p> <p>22 14:00 水 16:00</p> <p>やはぎさん運営懇話会 □ 無料 □ やはぎさん □ 西部地域交流センター・やはぎさん TEL:0564-33-3665</p> <p>25 14:00 土 16:00</p> <p>よりのなん運営懇話会 □ 無料 □ よりのなん □ 南部地域交流センター・よりのなん TEL:0564-59-3600</p> <p>28 13:30 火 15:30</p> <p>なごみん運営懇話会 □ 無料 □ なごみん □ 北部地域交流センター・なごみん TEL:0564-06-8251</p> <p>ふじかわ いいとご探検隊 小学生世代、父母世代、祖父母世代の3世代に分かれ、額川の大きな地盤「おふじマニア」に、どんなところで、どんな遊びをしたかを書き込み、重ねてみると、額川のまちの歴史を探ります。 □ 無料 □ 100名程度 ※直接会場にお越しください □ 額川小学校体育館 TEL:0564-23-6261</p> <p>25 9:30 土 12:00</p> <p>ミニなでっコッシュイ あかざの魅力発見！ GO！おかざきジャンボリー 第一回健康検定と同時開催されるあかざの魅力を一堂に会したあしお祭り。オンラインアイドル「OKA48」にもあそぶよ！ □ 無料 (一部有料) □ 泉井公民館 □ (社)岡崎青年会議所 TEL:0564-53-5045</p>	<p>10 October</p> <p>2 9:30 土 12:30</p> <p>本多忠勝ゆかりの近代建築が栄光に輝きます。 日本多邸を考える市民会議10 東区内に移築される日本多邸の運営イメージについて検討するワークショップ。今回は運営主体のあり方などについて意見交換をします。 □ 無料 □ 50名程度 ※直接会場にお越しください □ りぶら 会議室303 □ 岡崎市教育委員会社会教育課 TEL:0564-23-6653</p> <p>子どもから大人まで1日中楽しめます。 TOYOTA ROCK FESTIVAL '10 多国籍な音楽ライブや、オーケストラから日録グルメリレーまで1点モノが集まるクラブトークイベントなど、とにかく中身の濃い3日間大規模の無料野外イベント。 □ 無料 (駐車場1,000円) □ 豊田スタジアム西側広場 □ ジャイロウェイ事務局 TEL:0565-33-0002 http://toyotarockfestival.com</p> <p>16 10:00 土 15:00</p> <p>皆さんに思いっきり楽しんでいただきました。 よりのなん感謝祭「地域の箱みんで育てて4周年」 開設4周年を記念し、市民運動団体の地域団体や皆さんに日頃の活動の成果を披露いただくほか、地元野菜の販売、餅つき体験など、皆さんに楽しんでいただく予定です。 □ 無料 □ よりのなん □ 南部地域交流センター・よりのなん TEL:0564-59-3600</p> <p>24 17:50 日 19:10</p> <p>六ツ奥地区の特色を生かした施設づくり 第1回歴史の星WS 市指定無形文化財「大宮祭祀野田」をはじめ、六ツ奥地区の地域資源を生かした文化施設づくりについて話し合います。 □ 無料 □ 30名程度 ※直接会場にお越しください □ 六ツ奥南部学区市民ホーム □ 岡崎市教育委員会社会教育課 TEL:0564-23-6653</p> <p>30 10:00 土 15:00 31 (予定) 日</p> <p>なごみん文化祭 活動団体による文化・芸術などの発表が行われます。舞台でのパフォーマンスや作品展、バーベキューも盛りだくさん。 □ 無料 □ なごみん □ 北部地域交流センター・なごみん TEL:0564-06-8251 FAX:0564-45-1521</p>
---	---

Theme

テーマ：「岡崎と参加型まちづくり第3世代」

我が岡崎まち育てセンター・りたが得意とするワークショップ手法を駆使した参加型まちづくりは、日本国内において多様な経験の積み重ねがある。本稿では、その流れが3つの段階を経て現代に至り、岡崎へと展開してきたこと、さらには我がつたは、参加型まちづくりの第3世代に位置づけられることを紹介したい。

参加型まちづくりの黎明期を担った第1世代。先進事例として波及させてきた第2世代。そして今、一般的手法として積極的に活用する第3世代。さらに来るべき第4世代とは...

日本のまちづくりに、ワークショップ技法が輸入されたのは、1970年代後半といわれている。アメリカの社会建築家(ハンリー・サンプ)や環境デザイナー(ローレンス・ハルプリン)、あるいはコミュニティ建築家(クリストファー・アレグザンダー)が開発した、新しいまちづくり技法は、当時日本の先鋭的な環境デザイナーや建築家らによって一定の熱意の中で受け入れられた。ところが、高度経済成長の最中だった当時の日本では(住民との対話といった丁寧なまちづくり技法は馴染まず)、前掲的な芸術運動、まちづくり運動の中で実験的に展開されるに留まった。日本における参加型まちづくりの萌芽期を担った時代(戦後復興の世代)の専門家、参加型まちづくり第1世代と呼ぶ。

1980年代後半から1990年代初頭あたり、先の実験的試みが知識や技術として整理普及されて、参加型まちづくりが一定の市民権を得る時代が到来する。西の神戸、東の田辺谷(東京都)は、参加型まちづくりの先進地として台頭し、(イギリス等海外の協賛型まちづくりの流れも汲みながら)「パートナーシッ

プによるまちづくり」の概念と共に広がりをみせる。ワークショップ手法を全国に広めるナショナルセンターの役割を果たしたのが、世田谷まちづくりセンター(現・世田谷トラストまちづくり)である。これらのうねりは、横浜や函館、新潟や高山など特色ある国内の先進的まちづくりの中で浸透していった。こうした「国内の先進事例の中で参加型まちづ

り」が波及する時代」が2000年代初頭まで続き、これらを受けた世代(概ね50代)の専門家、参加型まちづくり第2世代と呼ぶ(※1)。

2000年代半ばになると、(人口減少等の社会構造の変化もあり)行政改革の流れともつながり「市民協働によるまちづくり」あるいは「新しい公共によるまちづくり」といった概念とともに、参加型まちづくりが一般市民自治体でも扱われるようになった。この状況の中で、岡崎市、愛知県地方においても、ワークショップ手法を活用した参加型まちづくりの現場が誕生しており、りたが受けてきたプロジェクトで言えば「岡崎市図書館交流プラザ・デザインワークショップ」や「東岡崎駅北口にむく広場ワークショップ」「日本多邸の活用を考える市民会議」を開催することが出来る。従って我がつたは、参加型まちづくり第3世代の1翼を担っている。

筆者・三矢は、15年間参加型まちづくりに携わってきたが、今と昔を比較して「世の中変わったなあ」と思うのは、参加型まちづくりの現場(ワークショップ)に参加したた

伝説?のコラムニストが語る!
 三矢勝司の
だとして
 ■コラムニスト:
 三矢勝司 | KATSUSHI MITSUYA
 NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局長

市民の皆さんの規模の変化だ。1990年代半ばには、意欲的な自治体の職員の方々と先進的なことに敏感な市民間に囲まれて、参加型まちづくりの先進事例に携わっていたが、いくつかの特殊事例を除くと、20人、30人までまちづくりを議論したことも少なくなかった。しかし最近では、1000人規模を対象としたワークショップ(及びイベントや研修)に遭遇することも(※2)。

だとして、次の参加型まちづくり第4世代(2015年〜)は、「地域協働・市民自治」への展開が避けられないだろう。例えば、2000世帯6万人程度の地域をマネジメントすることを想定した、まちづくり協議会の創設的運用支援(ワークショップ手法の活用)に、我々りたの活動展開のビジョンを据えるべきと考える。社会の変化を読み解き、的確なまちづくり支援を進めていく。

※1：りた職員である三矢・天野は、東京都田舎区で、参加型まちづくり第2世代の先陣方に知識や技術を学ばせていただいた経験が共通している。

※2：名古屋市、豊田市、春日井市、愛知県といった近隣市町村からも依頼がある。

■関連の書籍
 『バトン・ランゲージ—環境設計の手引』クリストファー・アレグザンダー 著、平田敏郎 翻訳、鹿島出版会、1984年
 『集団による創造性の開発—テイキング・パート』ローレンス・ハルプリン、ジム・パーズ 著、プレック研究所 編集、杉尾伸太郎、杉尾邦弘 訳、牧野出版、1989年
 『まちづくりリゲーム—環境デザイン・ワークショップ』ハンリー・サンプ 著、小野啓子、林 泰義 翻訳、晶文社、1993年

